



平成20年10月1日

宇宙開発戦略本部長 殿

宇宙開発新体制において宇宙生物科学の着実な展開を要望します

日本宇宙生物科学会

会長 森 滋夫

宇宙基本法で謳われた「人類の宇宙への夢の実現及び人類社会の発展に資する宇宙科学の振興」の推進、および「宇宙開発利用に関する基礎研究及び基盤的技術の研究開発」の推進に際し、日本宇宙生物科学会は、以下の理由から、将来を見すえた宇宙生物科学研究の重要性を提起し、宇宙開発の新体制とその計画にあたり、宇宙生物科学の着実な展開を可能にする国の施策を切に要望します。

宇宙生物科学は、太陽系や地球の歴史の解明と平行して生命の起源を探るアストロバイオロジー、地球という星で進化しその環境に適応してきた多様な生物のありさまを明らかにする惑星生物学、そして人類の宇宙への進出を実現するための生物・生態系工学、といった広い分野を包含する科学領域です。

宇宙生物科学は、ただ単に科学的な好奇心に応えるだけではなく、人類が宇宙開発利用を目指して宇宙へ進出しようという希求を実現していく事業を支える科学技術と工学にも深くかかわります。たとえば、宇宙放射線の生物影響、低重力下での植物栽培や動物育成、長期閉鎖空間居住における食物・栄養や衛生・健康管理、宇宙環境と地球環境を守るための宇宙検疫、などに関わる事業を推進するに当たって、生物学的知見は大変重要です。また、苛酷な環境条件下に適応して生き延びる生物のしくみの理解は、地球の急激な環境変化への対処を考える手がかりを与えてくれるでしょう。そして、重力の影響下で人間が生きているしくみを理解することは、生理機能が低下する高齢者の健康や安全のための施策を通して社会の福祉に寄与します。さらに、活力ある日本の社会を維持、発展させる上で枢要である次世代の教育において、広い視野を持ち、生命の尊厳を理解し、科学することの重要性を認識するにも、宇宙生物科学は格好の素材を提供します。

宇宙にかかわる日本の優れた研究は、基礎的な科学の基盤に根ざして着実な成果を積み上げてきたこと、日本固有の文化・歴史的な背景のもとで研究計画が構想されていることで、国際的に高い評価を得てきています。宇宙生物科学についても、このような潮流をさらに系統的に発展させ、国際的な競争と協調・連携のもとに宇宙での活動を進めることが肝要です。それによって日本は、人類が共有する財産である科学と宇宙の活動を主導することができ、ひいては、尊敬される国としての力量を示すことにもなります。

CC:宇宙開発担当大臣

宇宙開発戦略調査会座長

文部科学大臣

宇宙航空研究開発機構理事長